

エコテックス (CSM[®]-2000) 標準研究フォーラム」

第1回

5

発行：エコテックス (CSM[®]-2000) 標準研究フォーラム

広報委員会

〒 105-0003 東京都港区西新橋 1-14-7 山形ビル3階

TEL 03 (3504) 9800 FAX 03(5157) 3180

E-mail eco-texj@k9.dion.ne.jp

URL: eco-tex.com.

2002年

9月9日

第4回セミナーのご案内

日時：9月27日（金）午後2時～6時（5時から懇親会）

ところ：エコテック・ジャパン株式会社

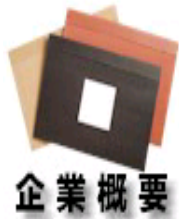
挨拶	岡本会長	2：00～2：10
1	第3回セミナーおさらい	2：10～2：40
	ミニマム要求事項：0641～0645	
	サプライチェーン分析の具体的説明	
	サプライチェーン委託生産基本契約書	
	コンプライアンス価値マーケティングサプライチェーン分析	
	休憩	2：40～3：00
2	現状分析 社会的責任(資料13枚)	3：00～4：40
	ミニマム社会的責任要求事項～懲罰措置	
3	事務局より以下の件を報告します。	4：40～5：10
	3. 1 第一回セミナー委員会の報告	
	3. 2 会員企業紹介について	
	明石被服興業(株)、ペガサスミシン製造(株)	
	3. 3 その他	
	最近の情報について	
	懇親会	5：10～6：10
	第一回 セミナー委員会	12:00～1：30

恐れ入りますが、準備の都合がありますので、出席はされる方のお名前を20日までに事務局へお知らせ下さい。

「企業紹介」は、明石被服興業(株)、ペガサスミシン製造(株)をお届けします。

CORPORATE INFORMATION

明石被服興業株式会社



代表者：社長 河合正照

設立：1944年11月1日

社員数：740名（グループ会社総数 1,000名）

本社：岡山県倉敷市児島田の口1-3-44 ☎711-8611

電話：086-477-7701 FAX：086-477-5664

URL <http://www.fcc.co.jp/akashi>

社是：衣料文化の向上に努め 社会奉仕をモットーとする

当社は学生衣料の代表ブランド「富士ヨット学生服」をはじめとし、企業ユニフォームやスポーツウェア、カジュアルウェアの企画・製造・販売を手がけており、繊維メーカーと提携した新素材の開発や機能性豊かな商品の提供を行っております。早くからスクールアイデンティティに取り組み、学校の校風作りに力を入れ、多様化するニーズに応え続けるために「ユーザーとの連携」「積極的な技術革新」「人材育成」を通じて社である「衣料文化の向上に努め 社会奉仕をモットーとする」企業を目指した事業展開を行っております。

これからの方針として私たちは次世代の制服づくりのコンセプトに「環境」と「国産」を揚げ、まず、環境面では「地球環境に配慮しない企業は存続しえない」を基本理念に1999年には、業界初となるISO14001を取得、環境保全企業として、本社工場屋上に太陽光発電システムの設置や廃棄物の再資源化そして包装資材の削減などさまざまなエコロジー対策を積極的に実施しています。

そしてもうひとつのテーマ「国産」とは、環境とも密接な関係があり、ペットボトルを再利用した「リサイクル学生服」の開発や「国産エコ・ユニフォームマーク」の制度であります。これは「環境配慮型製品の購入を促進しながら、高品質な国産品の普及を目指す」という観点から制定したもので「日本国内で生産された生地を使用し、日本国内で縫製されたもの」というものです。「自国の廃棄物は自国内で処理を行う」ということは、環境問題を考える上で国際的な大原則と考え、国内生産活動によるリサイクル社会を考えています。

製品紹介

◇スクールユニフォーム

・富士ヨット学生服 ・HANAE MORI SCHOOLS IENNE ・SCHOOL PRETA 他

◇スポーツウェア

・YACHTスポーツ ・マッカーガー 他

◇企業ユニフォーム

・PETICOOL ・Stella Vierge 他

◇カジュアルウェア

・Swamp Tours ・Muskoka Lakes 他

◇その他

・ベルト ・鞆、ランドセル ・レインコート 他

●自信の生産体制

最新鋭の縫製機器、環境に優しいシステム等を積極的に導入し、裁断から仕上までの一貫体制により更なる品質と生産性の向上を図ります。特に2001年にリニューアルした宇部工場は、全国でもトップクラスの縫製工場として注目を集めています。

名称：明石被服興業(株) 宇部工場

所在地：山口県宇部市際波

敷地面積：33,000㎡ 延床面積7,053㎡

主要設備：延反台(6台) 自動延反台(5台) CAD(7台) CAM(4台) ミシン(300台)

無人搬送機(2台) プレス(100台) イートンシステム(182station)

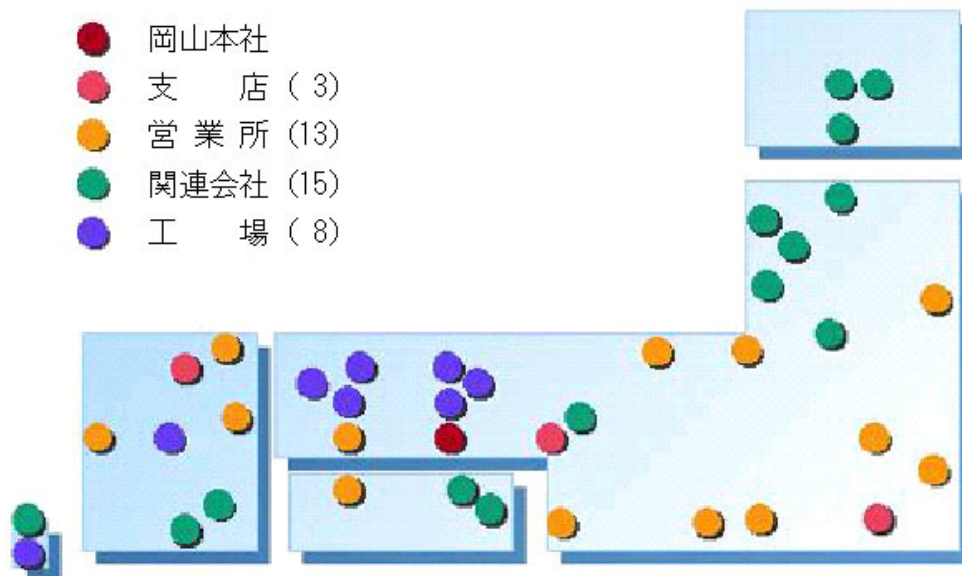
生産能力：年間 355,000 点の学生衣料の生産

社員数：305 名（男 37 名・女 268 名）

●日本全国に広がるネットワーク

生産・出荷・顧客管理などの独自のシステムを開発、効率化を進めてきました。全国 1 万 1000 軒に及ぶ販売先をネットワーク化するディビジョンシステムを展開、それぞれの地域に密着したスピーディな営業活動を行っています。さらに、販売促進部門、企画部門でもこのディビジョン網を通じて、マーケット情報を収集、企画開発に活用しています。

製造・販売のネットワーク



●環境保護への取り組み

基本理念

学生衣料総合メーカーとして、循環型社会構築に向けて、その中核を担う教育関連企業としての認識のもと全ての企業活動において、美しい地球環境を次世代に引き継ぐ行動を全員で実行します。

・包装資材の削減

包装材はゼロがベストの観点に立って、過剰包装の改善に取り組んでいます。

・消費電力の削減

エネルギーの浪費は“かけがえのない地球”に温暖化をもたらします。こまめな消灯やエアコンの適正管理、太陽光発電設備の導入など徹底した省エネに取り組んでいます。

・廃棄物の削減と再資源化率の向上

現代社会の様式では、廃棄物の増大を招き、ごみ処理は深刻な社会問題になっています。ごみ分別を徹底すれば有用な資源となります。分別を徹底して、ごみ減量と再資源化率向上に取り組んでいます。

・事務用紙使用量の削減

紙の無駄使いは貴重な森林資源を枯渇させます。パソコンによる全社ネットワークの構築や会議でのプロジェクター使用などにより、ペーパーレス化を図ることで紙を大切にしています。

・事務用品のグリーン購入推進

第4回グリーン購入大賞の中小事業者部門で入賞。備品のほか、包装・梱包、設備のグリーン購入に取り組む、社員への意識付けに様々なプログラムを実施していることが評価されました。

・リサイクル製品の販売促進

男女通学服や企業ユニフォーム分野でペットボトルからリサイクルされた素材を使用した製品を数多く提案しています。より安心して着用していただけるリサイクル製品を生産し、循環型社会形成に貢献していくため、国内で製造されたリサイクル製品だけに付与される「国産エコユニフォーム」製品の開発にも力を注

いでいます。

●メセナ活動

・ユニセフ サポート（子供たちの未来のためにできること）

当社代表ブランドの『富士ヨット学生服』の収益金の一部を財団法人ユニセフ協会へ寄付を行い、学生服の販売を通じて、未来を担う子供達を支援する活動を続けています。

・スクールコミュニケーション新世紀（子供たちの未来を考えていくための意見交換ができる「小さな広場」）

学校制服の今後の方向性として「スクールコミュニケーション」という考え方を打ち出し、それを理念的なものだけでなく、制服メーカーとしてできる事を具体的に推進していくことが重要と考え、社内のコンピューターネットワークを通じて理念を社員に徹底し、学校関係へも冊子やCD-ROMの配布及びホームページを通じての恒常的な「スクールコミュニケーション環境構築」の援助を行い、商品そのものだけではなく、理念を通じて制服自体の必要性や意義を提案し、学校と共に発展していける企業を目指しています。

スクールコミュニケーション新世紀のホームページ <http://www.fcc.co.jp/akashi/sc-set.htm>

・明石記念館（精神をいやす心地よい空間）

被服製造60周年の記念事業の一つとして美術鑑賞施設として「明石記念館」を設け、日本画・書・陶磁器・工芸品・中国書画を多数収集し、お客様の心を癒す空間として、また社員の美への修練道場として役立っております。

・明石菜園（大地の温もりとふれあいの場）

地球環境配慮の原点は、土や緑に親しむことだと考えています。社員が仕事以外の共通の話題を持ち、家族と一緒に汗を流し、「ホリデー・アグリ」にいそしんでいます。

●トピックス

直営店の展開

カジュアル衣料部は社内で唯一、一般店頭向けの製品を扱っている部隊です。百貨店、専門店等、幅広くカジュアル商品を販売しています。

1996年からカナダのマスコカレイクスブランドとのライセンスにより、直営店展開を開始。第一号店をTOKYO-BAYららぽーとに出店。ネイティブなライフスタイルウェアの提案から始まり、一風変わったアメカジスタイルや、独自の店舗スタイルが受け、その後1999年に原宿店、横浜のオーロラモール店、2000年にはアクアシティお台場店を次々と出店。現在関東で4店舗の直営店展開をしています。

18歳～24歳の若い購買層を中心に、30代のファミリー層の来客も多く、今後も幅広い年代に支持されるお店に行きたいと思っています。

直営店展開のメリットは、市場のニーズをダイレクトにキャッチできる事。ここから得られる情報は、カジュアル製品に留まらず、学生服、企業ユニフォームの企画開発にもフィードバックされています



アクアシティお台場店

基本姿勢

変化への即応。それが環縫いミシンのリーディングカンパニー・ペガサスの使命です。

長年にわたり、世界の縫製市場に製品を供給してきたペガサス。

環縫いミシンのトップメーカーに成長し、そして、これからもトップであり続ける背景には、縫製市場と時代の変化に即応することをテーマとし、常にその実現、向上に努めてきたペガサスの姿勢があります。

各国ごとに異なる市場ニーズ・動向・変化。

それらをいち早く、的確に把握し、製品・サービスの迅速な対応で市場にフィードバックする———この一見あたりまえのことを、組織・企業レベルで、そして世界レベルで実施してきたことが、現在の「世界トップの環縫いメーカー」というペガサスへの高い評価へとつながっているのです。

世界の縫製現場が抱える問題・テーマをミシンメーカーの立場から解決していくことは、トップメーカーとしてのペガサスの使命であり、責任であると考えます。

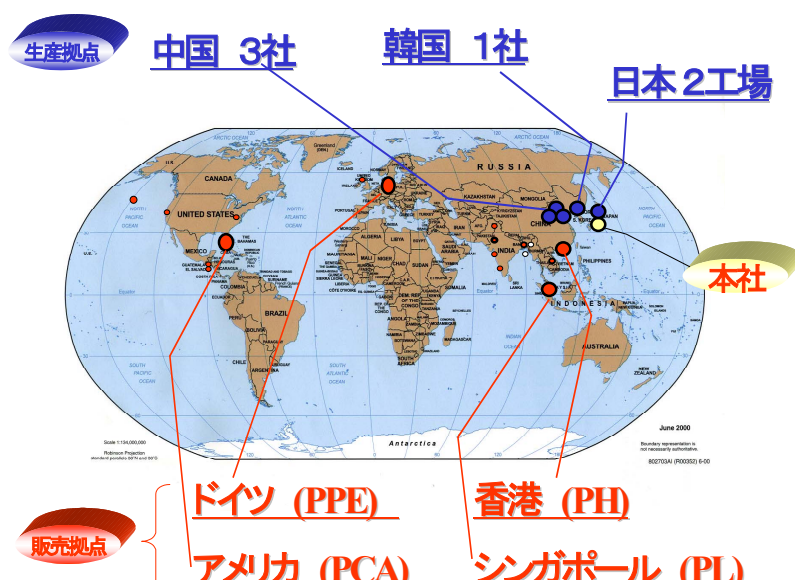
機能性・操作性・耐久性といった生産財としてのミシンに求められるクオリティはもちろん、「開発力」「提案力」「対応力」、あるいは「サービス」「社内体制」「仕事への取り組み」といったすべての要素を包括したトータルでのクオリティ、いわば“ペガサス・クオリティ”を武器に、21世紀のアパレル・縫製産業に貢献していきます。

——縫製市場、そして社会・時代の変化に即応する。それが、環縫いミシンのトップメーカーとしてのペガサスのテーマです。

ワールドワイドに展開するペガサスの市場戦略

国により、あるいは地域により縫製市場の特性・ニーズは異なります。1970年代前半という早い時点で他社に先駆け海外での生産・販売拠点づくりをおこなってきたペガサスは、そのことを熟知しています。

この考えのもとに構築されたグローバルネットは単なる製品の供給路として以上に、世界の縫製市場に直結するペガサスの生産・販売拠点と日本本社を瞬時に結ぶコミュニケーションネットとしてダイナミックに機能しています。各国の市場ニーズを迅速・的確にキャッチし世界の縫製市場に最大メリットを提供しつづけていく。ペガサスは、世界の縫製市場を「日本と日本以外の国」ではなく「縫製市場の実情・要求・ニーズの違い」で捉えているのです。



<世界を瞬時に結ぶ生産・販売ネットワーク>

製品開発

ノウハウの蓄積によるペガサスの革新的な開発力。

ペガサスは世界トップレベルの高度な開発力を駆使し、縫製市場のニーズに応えることができる高品質な製品を提供しています。その開発コンセプトは「使い手側の立場に立った発想」。リードタイム短縮、多品種少ロット・新素材の縫製対応など、アパレル・縫製産業が取り組んでいるテーマに対する提案はもとより、操作性・安全性などオペレーターにまで配慮した製品展開をすすめています。

創業間もない頃から高品質な製品づくりに努めてきたペガサスの開発力は、高度な技術力とユーザーの立場に立った発想を基盤に世界の縫製技術のレベル向上に貢献しています。

生産体制

滋賀・中国・韓国の生産工場が可能にするペガサスの世界供給体制。

市場への即納を可能にしているペガサスの生産体制のベース、それは「開発型製造」。常にレベルアップを目指す設計・生産技術・製造・購買の各機能が高いレベルで連携することにより、高品質な製品づくり、リードタイムの短縮化を図っているのです。

滋賀工場をはじめ韓国、そして中国2か所に置かれた海外工場を含めた4工場から世界の縫製市場へ送り出されている、およそ3,000種類の製品。これらはすべて、長年にわたる生産技術・ノウハウの蓄積が可能にしたペガサスの高度な生産体制により生み出されています。

営業体制

世界の縫製市場をカバーするペガサスのコンサルティング営業。

国内・海外を問わずペガサスの営業活動は「環縫いミシン専門メーカーとして何ができるか」を常に意識することを基本に、コンサルティング営業を展開しています。

単に製品を販売するのではなく、縫製現場により異なる事情、そこから聞こえてくるニーズ・要求をダイレクトにキャッチ。

製品の即納や効率的な縫製システムの提案、あるいは技術指導・販売指導をきめ細かくおこなうなど、世界の縫製市場・現場の声に応えています。

リードタイム短縮を加速する「CS（カスタマー・サービス）センター」。

製品、あるいは部品をより短時間のうちにお客様にお届けする――。

ペガサスのテーマである“即納体制”のカギを握るのが、国内生産拠点である滋賀工場内に設置されているCSセンターです。要求に応じて隣接する工場より製品・部品を直接お客様に納品。迅速な対応で、営業と生産のかなめとして機能しています。また技術や情報を集中管理しており、ペガサスの問題解決型商品開発やユーザーニーズへのQR（クイックレスポンス）に大きく貢献しています。

以上



ペガサスミシン製造株式会社

所在地：〒553-0002 大阪府大阪市福島区鷺洲5丁目7番2号 電話：06-6451-1351（総務部）

<http://www.pegasus.co.jp/>